

高松市立東植田小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

主体的に考え行動することのできる児童の育成

【本校の課題】

- 全体的に体格が平均以下であることも影響して、体力・運動能力ともに全国及び県より低い傾向にある。特に柔軟性・敏捷性が低い。

【現状】

休み時間等には多くの児童が元気よく運動場で遊んでいる姿が見られる一方で、外に出るのを億劫が児童もいる。また、遊びの種類もボールを使った遊びや鬼遊びが中心で、固定化する傾向が見られる。

児童数が少ないため、クラスマッチなどの他のクラスと競い合う機会が乏しい。

【取組み】

毎日わくわく自由遊び

業間を「わくわく自由遊び」の時間と位置づけ、毎日外でしっかり遊ぶことができるようにする。教職員も外に出て児童の様子を観察したり共に活動したりする。



全校ワクワク遊び

遊びを紹介する場として、月に1回の全校なかよし遊びを実施する。体育委員会が企画し、1～6年生のみんなが楽しめる遊びを紹介し、たてわり班で取り組む。



クロスカントリー大会

2月のクロスカントリー大会に向けて、12月から週3回、業間のマラソンに取り組む。校内だけでなく、実際のコースでも試走を行う。



水泳・陸上教室の実施

5・6年生に加えて、4年生も希望者が参加する。3年間教室に参加することで、水泳や陸上の特性に触れ、泳力や走力に応じて段階的に取り組めるようにする。



【目標】

- 毎日の外遊びを実行するとともに、教師もそれに積極的に関わることで、運動する心地よさを味わい、運動好きな子を育てる。
- 体育の授業では、1時間の4分の3は運動時間に当てるように努める。